

知床世界自然遺産地域科学委員会  
海域ワーキンググループについて

1 目的

知床世界自然遺産地域における海域の保全と海域管理計画の推進状況及び見直しに対する科学的立場からの助言を行うため、知床世界自然遺産科学委員会設置要領第4条第4項に基づき、設置。

2 構成

○ 委員

(科学委員会委員)

桜井 泰憲 【座長】 函館国際水産・海洋都市推進機構函館頭足類科学研究所 所長  
白岩 孝行 北海道大学低温科学研究所准教授  
牧野 光琢 水産研究・教育機構中央水産研究所経営経済研究センター  
水産政策グループ長  
綿貫 豊 北海道大学大学院水産科学研究院教授

(特別委員)

小林 万里 東京農業大学教授  
千葉 晋 東京農業大学教授  
中多 章文 北海道立総合研究機構釧路水産試験場調査研究部長  
服部 寛 東海大学名誉教授  
松田 裕之 横浜国立大学大学院教授  
宮腰 靖之 北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場さけます資源部長  
山村 織生 北海道大学大学院水産科学研究院准教授

○ オブザーバー

羅臼漁業協同組合、斜里第一漁業協同組合、ウトロ漁業協同組合、網走漁業協同組合、  
公益財団法人知床財団

○ 地元自治体

斜里町、羅臼町

○ 関係行政機関

第一管区海上保安本部、水産庁、林野庁（北海道森林管理局）、北海道水産林務部等

○ 事務局

環境省（釧路自然環境事務所）、北海道環境生活部

※ 検討内容に応じて、適宜、特別委員を追加する場合がある。

知床世界自然遺産地域科学委員会 委員長：桜井 泰憲氏（函館頭足類科学研究所所長）

科学的な知見に基づく順応的な保全管理を実現するために設置。行政が行う事業や  
施策等について科学的な視点から助言する。また、特定の課題に対応するため、次の  
4つのワーキンググループ等を設置している。

- ・海域ワーキンググループ
- ・エゾシカ・ヒグマワーキンググループ
- ・河川工作物アドバイザー会議
- ・適正利用・エコツーリズムワーキンググループ